



四日市市 文化財保存活用地域計画 概要版

四、踊るその手でチヨイト空見れば
艶な綺目の大入道（ハイ）
サテ大入道（ハイ）ハイ
ソレまつり音頭で（シャン）シヤン
サテまつり音頭で（ヨイ）ヨイ ヨイ

五、くひく手も いとあぎやかに（ハイ）ハイ
娘子で夜も更ける（ハイ）
も更ける（ハイ）ハイ
ソレまつり音頭で（シャン）シヤン シヤン シヤン

四日市市



本計画について

四日市市では、貴重な「文化財」を後世まで残していくために、人々の关心を文化財に集め、多くの人にその価値を知ってもらい、「文化財」※の保存と活用を図るために、「四日市市文化財保存活用地域計画」(以下、「本計画」という。)を作成しました。これは、本市における「文化財」の保存・活用の長期的な基本方針を定めるマスタープランであるとともに、その方針に従って短期的に実施する事業を定めるアクションプランでもあります。

本計画に定める取組みを推進することで、市民のみなさまの本市に対する誇りと愛着がより深まるとともに、まちの魅力向上につなげていきたいと考えています。

※指定文化財と未指定文化財を合わせて「四日市市の「文化財」」(以下、「文化財」とします。)



計画の対象範囲

本計画では、ここに示すように分類を行い、計画の対象範囲とします。

指定等文化財

歴史上、芸術上、又は学術上の価値が明確になっており、文化財保護法にもとづき重点的な保護の対象となっているもの

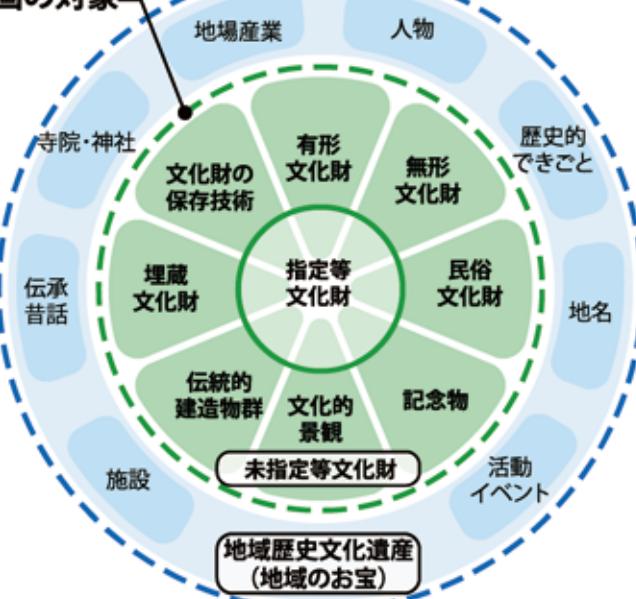
未指定文化財

指定等されていないが、四日市市の歴史文化にとって重要で、今後価値を明確にし、市民などで共有していくことが望まれるもの

地域歴史文化遺産 (地域のお宝)

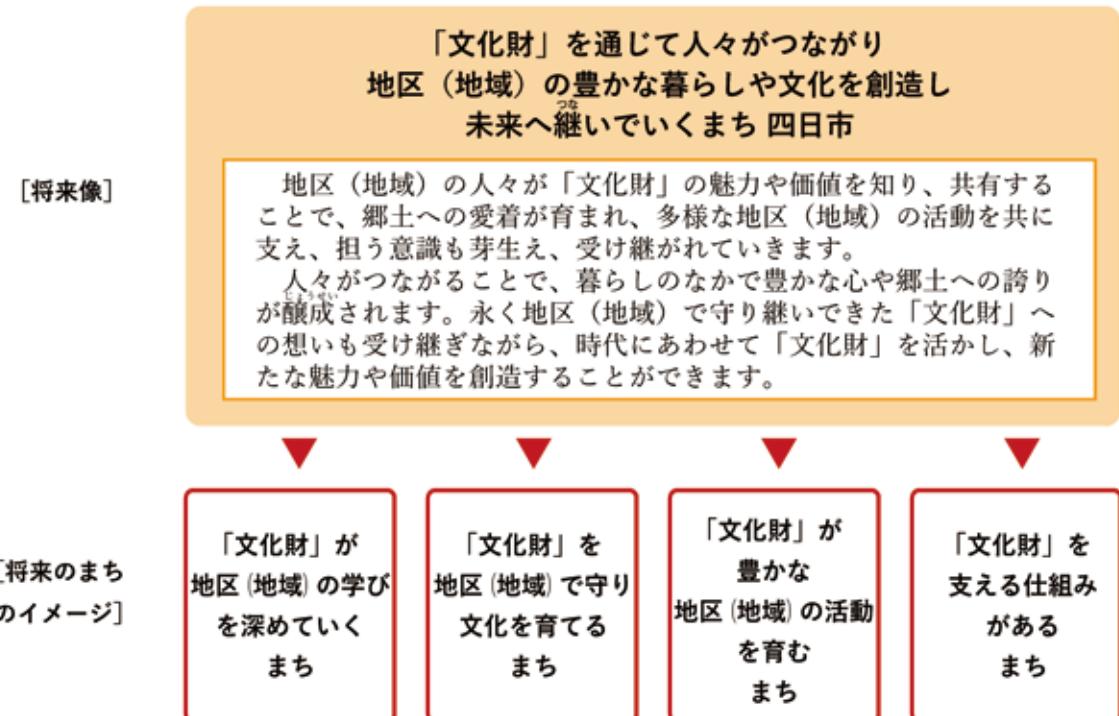
従来の文化財類型に収まらなくても、地域で大切にされている歴史文化の遺産

四日市市の「歴史文化遺産」 四日市市の「文化財」 =本計画の対象



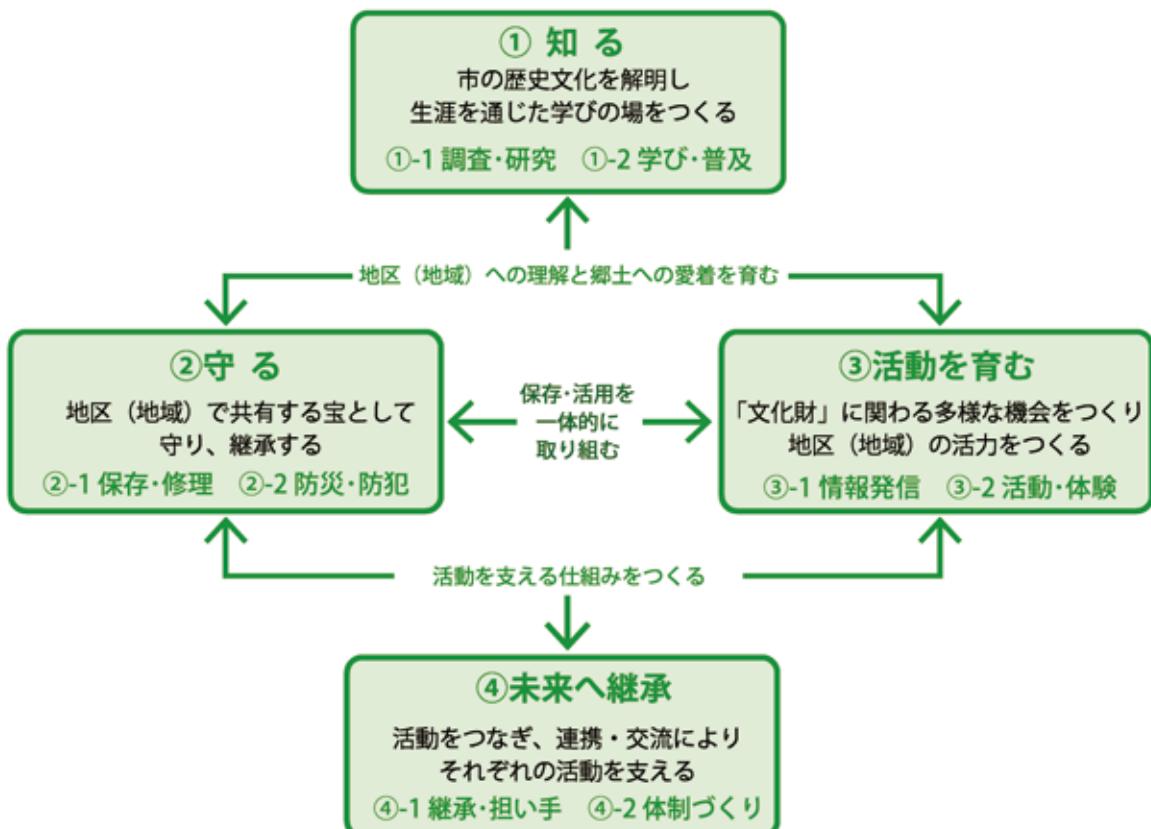
「文化財」の保存と活用に関する将来像

本計画では、「文化財」の保存と活用を通して実現を目指す四日市市の将来像を掲げるとともに、将来像が実現した際のより具体的な「まちの将来イメージ」をキーワードとともに描き、地区（地域）一体で協働しながら、持続的に取り組んでいきます。



「文化財」の保存・活用の方策

「文化財」の保存・活用を進めるための方策として、前項にあげた4つのまちの将来イメージそれぞれに対応するように、①知る ②守る ③活動を育む ④未来へ継承 の4つを定めます。「文化財」を**知ること**で、地区（地域）への理解と郷土への愛着を深めます。「文化財」を地区（地域）の宝として**守ること**に加え、多様な**活動を育む**ことで活用し、**未来へ継承**していきます。



四日市市の歴史文化の特徴と関連文化財群及び文化財保存活用区域の設定

地区ごとに捉えた歴史文化の特徴を踏まえ、四日市市の歴史文化の特徴を整理しました。

まず、それぞれの地区に共通する特徴を束ねることで、32の小項目を導きました。さらに、総合して広い視点でまとめ10の大項目として整理しました。

四日市市の歴史文化の特徴をもとに、図に示す通り、今回の計画期間における関連文化財群及び文化財保存活用区域を設定します。

| 四日市市の歴史文化の特徴 | | | 地区ごとの歴史文化の特徴 | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|--|--------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| [大項目] | [小項目] | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| I 自然とともに生きる海、山、川の恵み | I -① 東海湖と東海地方の固有の植物 I -② 水辺に生息・生育する希少な動植物 I -③ 自然景観 | | ● | | | | ● | | | | | | | |
| II 遺跡が伝える人々の暮らし | II -① 先史時代の人々の営みを伝える遺跡 II -② 古墳に見る地域の情勢 | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| III 古代史の舞台 | III -① 記紀神話の舞台 III -② 朝明郡の郡家の成立と古代地方社会の発展 | | | ● | | | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| IV いまに伝わる市と武士の支配 | IV -① 伊勢平氏の活躍と伊勢三郎義盛 IV -② 北勢四十八家による勢力争い IV -③ 赤堀三家による統治 IV -④ 伊勢安国寺由来の信仰 IV -⑤ 「四日市」の起り | | | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| V 街道の往来が生んだ文化と江戸時代の面影 | V -① 幕府と大名による支配 V -② 東海道と四日市宿の繁栄 V -③ 縦横にめぐる街道の往来 | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| VI 産業都市の礎 | VI -① 近代産業の発祥と四日市港の発展 VI -② 鉄道の発達 | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| VII 戦後の都市形成 | VII -① 戦災を伝える戦争遺跡と復興都市計画 VII -② 港の工場地帯（コンピナート） VII -③ 伝える災害の記憶 | | ● | | ● | ● | | | ● | | ● | | ● | |
| VIII 地域に根ざした産業 | VIII -① 四日市萬古焼の発展 VIII -② 自然環境と人の交流が育んだ地場産業 VIII -③ 漁業と関連産業 VIII -④ 伊勢茶の产地 | | | ● | ● | | | | | ● | ● | ● | ● | ● |
| IX 暮らしに息づく祭礼文化 | IX -① 農村の暮らしを支える文化 IX -② 受け継がれる祭礼行事 IX -③ 守り続けられる獅子舞 IX -④ 鯨船行事 | | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| X 水とともに築かれた歴史文化 | X -① 伝承にまつわる水 X -② 清らかな水が育んだ醸造文化と暮らし X -③ 近代の利水の歴史 X -④ 用水整備による安定的農業の実現 | | | ● | | | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

文化財保存活用区域

2

漁師町の歴史文化
富田、富洲原

計画期間

令和 6 (2024) 年度から令和 15 (2033) 年度の 10 年間としています。

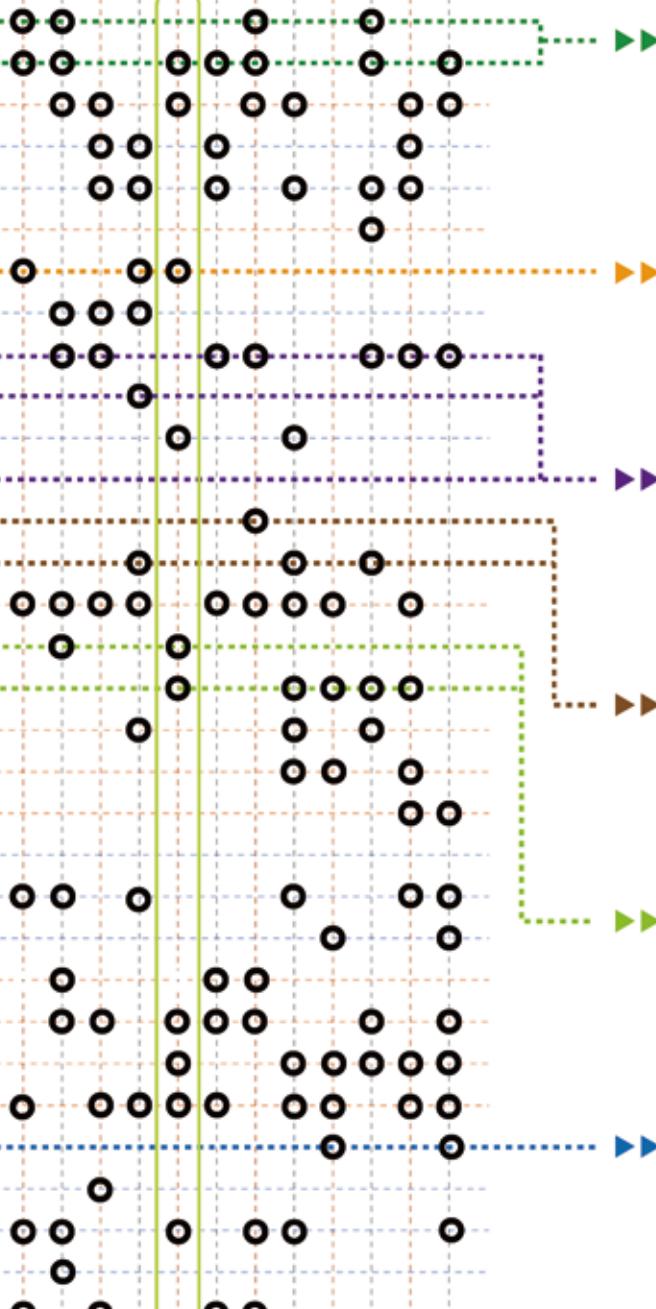
令和 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

四日市市
文化財保存活用
地域計画

(10 年間)

▲ 見直し

13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
小 河
川 神 常 四 山 水 日 塩 内 原
桜 島 前 鮎 郷 田 沢 永 浜 部 田 楠



関連文化財群

1

東海湖由来の湿地の植物

2

古代史の舞台
久留倍官衙遺跡
と朝明郡

3

中世の城跡
北勢四十八家と赤堀三家

4

近世東海道と四日市宿

5

産業都市四日市の礎
となった近代産業

6

勇祭!鯨船行事

1

近代産業発祥の地
四郷の歴史文化

関連文化財群（歴史文化のテーマ）

歴史文化の特徴の中から、先行的に取り組む保存・活用のためのテーマを関連文化財群として6つ設定します。

1 東海湖由来の湿地の植物

市内の丘陵地には、600万年前から100万年前まで存在した**東海湖（東海湖盆）**に由来する湿地があります。湿地には東海地方の固有種をはじめとする貴重な植物が多数生育しています。



御池沼澤植物群落

2 古代史の舞台 久留倍官衙遺跡と朝明郡

古代の四日市は、北部は**朝****明郡**、南部は三重郡に属していました。久留倍官衙遺跡は、朝明郡の役所の遺跡であり、壬申の乱や聖武天皇東国行幸に関わる古代史の舞台ともなりました。



久留倍官衙遺跡

3 中世の城跡 北勢四十八家と赤堀三家

この地方は**北勢四十八家**といわれる土豪達が群雄割拠していました。市内には約40カ所の城館がありました。中でも**赤堀三家**は赤堀・浜田・羽津に城を築き、北勢地方で勢力を張ったと語られています。



浜田城址（鵜の森公園）

5 産業都市四日市の礎となった近代産業

幕末より、四郷地区をはじめとして本市では**近代産業**が盛んとなり、**四日市港**の発展や**鉄道**の整備による輸送力の増強に伴い近代化が進み、産業都市となりました。



旧四郷村役場

4 近世東海道と四日市宿

江戸時代、**四日市宿**は43番目の宿場町となり、人と物の往来が活発でした。また、富田は立場、日永は間の宿としてにぎわいました。**日永の追分**は、伊勢参宮道との分岐点でした。



日永の追分

6 勇祭！鯨船行事

北勢地方に現存する陸上の模擬捕鯨行事です。鯨を豊饒の象徴とみなし、これを仕留める演技を行うことによって、**大漁や豊饒を祈願**するこの地域に伝承する行事です。



鳥出神社の鯨船行事

文化財保存活用区域

本市で重点的に文化財の保存・活用に取り組む区域として2つ設定します。



1 近代産業発祥の地 四郷の歴史文化

区域内には「関連文化財群5 産業都市四日市の礎となった近代産業」の関連文化財群が集中しています。伊勢安国寺に由来の寺社や仏像があります。また、大念仏等の祭礼行事等も継承されています。地区北側の小高い丘陵地は風致地区に指定され、自然と町並みが一体となった景観を形成しています。

2 漁師町の歴史文化 富田、富洲原

区域内には富田、富洲原の漁師町の街並みが残っています。また、「関連文化財群6 「勇祭！鯨船行事」」に含まれ、鳥出神社の鯨船行事があるほか、石取祭やけんか祭り等の祭礼行事も行われています。漁業に関連し製網等の地場作業も発展し、歴史的価値のある近代建築も残ります。

保存・活用のための方策・課題・方針・取組み一覧

| 方策 | 課題 | 方針 | 取組み 番号 | 事業名 |
|------|---------|--------------------------------|--|--|
| ① 知る | 1 調査・研究 | ・「文化財」調査が不十分 | ・未調査の「文化財」の把握調査を実施 ・歴史的価値の高い「文化財」の詳細調査を実施 | 1 「文化財」の調査・記録・公開 2 埋蔵文化財の調査・保存 3 歴史的建造物調査 4 文化財の指定・登録 |
| | | ・「文化財」の消失が進行 | ・資料等の収集と整理 | 5 古い写真等の収集、アーカイブ化 |
| | | ・「文化財」の現況の把握が不十分 | ・「歴史文化遺産」をデータベース化、運用 ・データベース化された「歴史文化遺産」リストの管理・運営による「文化財」の実態把握 | 6 「歴史文化遺産」リスト、データベースの作成、公開(守る30関連) |
| ② 守る | 2 学び・普及 | ・地区(地域)における「文化財」の価値に関する情報発信の不足 | ・「文化財」の価値の発信と学びの場の充実 | 7 指定文化財説明板設置 8 埋蔵文化財の公開 9 埋蔵文化財センターの整備(守る20・29関連) 10 ホームページの更新及びガイドブックの作成 |
| | | ・小中学校との連携不足 | ・ふるさと学習の充実 | 11 ふるさと学習支援 |
| | | ・地区(地域)における「文化財」の価値を学ぶ機会の不足 | ・地区における学びの場及び機会を設ける | 12 地区(地域)資料情報の収集・保存・活用 13 地区(地域)で行う学習講座 |
| ③ 修復 | 1 保存・修理 | ・修理等に関する資金の不足 | ・「文化財」の修理、維持管理等に対する所有者・管理者への支援 | 14 「文化財保存整備・継承事業」(守る26関連) 15 「文化財維持管理事業」 16 指定・登録文化財の現況確認 17 文化財パトロールの実施 |
| | | ・未指定文化財の保存が困難 | ・民間資金の活用支援 ・未指定の「文化財」の保存への支援 | 18 民間助成等の活用支援 19 文化財地方登録制度の導入 |
| | | ・「文化財」の保存・保管施設の老朽化 | ・多様な方法による「文化財」の保存・保管 | 20 埋蔵文化財センターの整備(知る9・守る29関連) 21 博物館収蔵品の保存・活用 22 埋蔵文化財(遺跡)出土遺物の保存処理 23 写真フィルム等のデジタル化 |
| ④ 防災 | 2 防災・防犯 | ・災害及び盗難への対策不足 | ・災害への危険性の把握 ・地区(地域)の防犯対策を支援 | 24 指定等文化財のカルテづくり 25 防災・防犯に対する啓発 26 「文化財保存整備・継承事業」(守る14関連) 27 文化財防火デーに伴う文化財防火運動 |
| | | ・災害発生時の対応の未整備 | ・防災マニュアルの作成及び応急的な保護を行う体制整備 ・災害時に「文化財」を避難させる施設の整備 ・災害時の「文化財」の所在等を確認 | 28 「文化財」防災マニュアルの作成及び応急的な保護を行う体制整備 29 埋蔵文化財センターの整備(知る9・守る20関連) 30 「歴史文化遺産」リスト、データベースの作成、公開(知る6関連) |

| 方策 | 課題 | 方針 | 取組み | |
|----------------------|---------------------|--|--|--|
| | | | 番号 | 事業名 |
| (3) 活動 を 育む | 1 情報 発信 | <ul style="list-style-type: none"> 施設での取組みについての情報発信不足 | <ul style="list-style-type: none"> 市民にわかりやすい「文化財」の情報発信 | 31 四日市ゆかりの企画展示 32 情報発信(未来へ継承49関連) 33 サインや説明板の多言語化の充実 34 「文化財」マップの作成 35 遺跡情報システムの維持・管理・活用 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> シティプロモーションとして一体的・総合的な情報発信 | 36 フィルムコミッショングの推進 |
| | 2 活動 ・ 体験 | <ul style="list-style-type: none"> 情報発信に関する主体間の連携不足 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な主体による情報発信 | 37 ボランティアガイドの育成 38 多様な主体の参加による情報発信の仕組づくり |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 地区(地域)活動への支援(情報提供、ノウハウ、ボランティア等) 多様な主体による連携した取組み | 39 地区の「文化財」を活かした活動及びその支援 40 歴史的建造物の活用 41 郷土資料館等の運営及びその支援「四日市市楠歴史民俗資料館保存活用事業」 |
| | 3 ・ 体験 | <ul style="list-style-type: none"> 「文化財」の魅力に対する市民の意識が希薄 | <ul style="list-style-type: none"> 全市的な取組みの充実 | 43 「郷土が誇る芸能大会」の開催 44 大四日市まつり 45 萬古まつり 46 「文化財」巡りウォーク |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 多様な担い手育成 | 47 「地域の文化遺産の保存・継承支援事業」 |
| (4) 未来 へ 継承 | 1 継承 ・ 担い手 | <ul style="list-style-type: none"> 担い手や行事への参加者が減少 | <ul style="list-style-type: none"> 若い世代が「文化財」に触れる機会の創出 | 48 学校と地区(地域)との連携 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 文化財に対する理解・関心を喚起 | 49 情報発信(活動を育む32関連) |
| | 2 体制 づくり | <ul style="list-style-type: none"> 行政の体制、庁内連携が不十分 | <ul style="list-style-type: none"> 市の「文化財」体制強化及び庁内連携の促進 | 50 「文化財」専門職員の拡充、人材確保・育成 51 庁内連携の促進 52 文化財保存活用地域計画評価委員会(仮)の設立 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 行政と地区等が連携・協働する体制づくり | 53 「地区まちづくり構想」に基づく地区(地域)との連携 54 大学等との連携 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 地区団体と市の協働の不足 地区団体の育成、団体間連携の不足 | <ul style="list-style-type: none"> 活動団体同士の交流や連携促進 | 55 伝統的な文化行事の保存継承に関する研究会の充実 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 広域連携が希薄 | <ul style="list-style-type: none"> 他の自治体との連携した取組み促進 | 56 他自治体との連携 |

関連文化財群と文化財保存活用区域 テーマの設定・課題・方針・取組み一覧

| 関連文化財群 | 課題 | 方針 | 取組み 番号 事業名 |
|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|--|
| 1 東海湖由来 の 湿地の植物 | ・開発や遷移による生育環境の縮小 | ・生育環境を守りながら、市民が親しめる場、機会の創出 | 57 御池沼沢植物群落の管理・活用(守る15関連) |
| | ・保護活動の担い手不足 | | 58 「文化財維持管理事業」(守る15関連) |
| | ・環境への理解が不足 | ・自然を生かした環境学習、地区(地域)学習の促進 | 59 環境学習事業(知る11関連) 60 地区(地域)で行う学習講座(知る13関連) |
| | | ・情報発信の充実 | 61 「文化財」マップの作成(活動を育む34関連) 62 情報発信(活動を育む32関連) |
| | ・広域連携の不足 | ・広域連携の促進 | 63 他自治体との連携(未来へ継承56関連) |
| 2 古代史の舞台 久留倍官衙遺跡 と朝明郡 | ・久留倍官衙遺跡の価値の発信が不十分 | ・久留倍官衙遺跡を拠点とした魅力発信 | 64 久留倍官衙遺跡の周知に関する取り組み、公園の管理(知る11・13、守る15、活動を育む39、未来へ継承49関連) |
| | ・古代朝明郡の「歴史文化遺産」の周知及び巡るために環境整備が不十分 | | 65 久留倍官衙遺跡まつり 66 情報発信(活動を育む32関連) 67 デジタル技術を用いた古代空間体験 |
| | ・「文化財」の連携不足 | ・「文化財」の関係を周知するコンテンツの作成、発信 | 68 地区(地域)で行う学習講座(知る13関連) |
| | ・「文化財」の連携不足 | ・「文化財」を巡ることができる環境の整備 | 69 「文化財」の整備(知る7関連) 70 古代史をたどる道の整備 71 交通事業者との連携(活動を育む46関連) 72 「文化財」マップの作成(活動を育む34関連) |
| | | ・広域連携の促進 | 73 他自治体との連携(未来へ継承56関連) |
| 3 中世の城跡 北勢四十八家と 赤堀三家 | ・城跡の現状把握調査が不十分 | ・地元の理解下での城跡調査と活用整備 | 74 城跡現況把握調査(知る1関連) |
| | ・立入りが困難な城跡の認知不足 | | 75 城跡活用整備(知る7関連) |
| | ・関係する「文化財」の一體的な活用、情報発信が不十分 | ・城跡の周知・発信と理解の促進 | 76 地区(地域)で行う学習講座(知る13関連) |
| | | ・市域における中世の歴史ストーリーを活かした取組み | 77 中世城館巡り(活動を育む32・46関連) 78 「文化財」マップの作成(活動を育む34関連) |
| | 4 近世東海道 と四日市宿 | ・街道に関する「文化財」の消失・減少 | 79 「文化財」の調査(知る1・3関連) 80 「文化財」の修理計画 |
| | | ・環境整備と回遊性の創出 | 81 「東海道整備事業」 82 サインや説明板の多言語化の充実(活動を育む33関連) |
| | | | 83 「文化財」マップの作成(活動を育む34関連) |

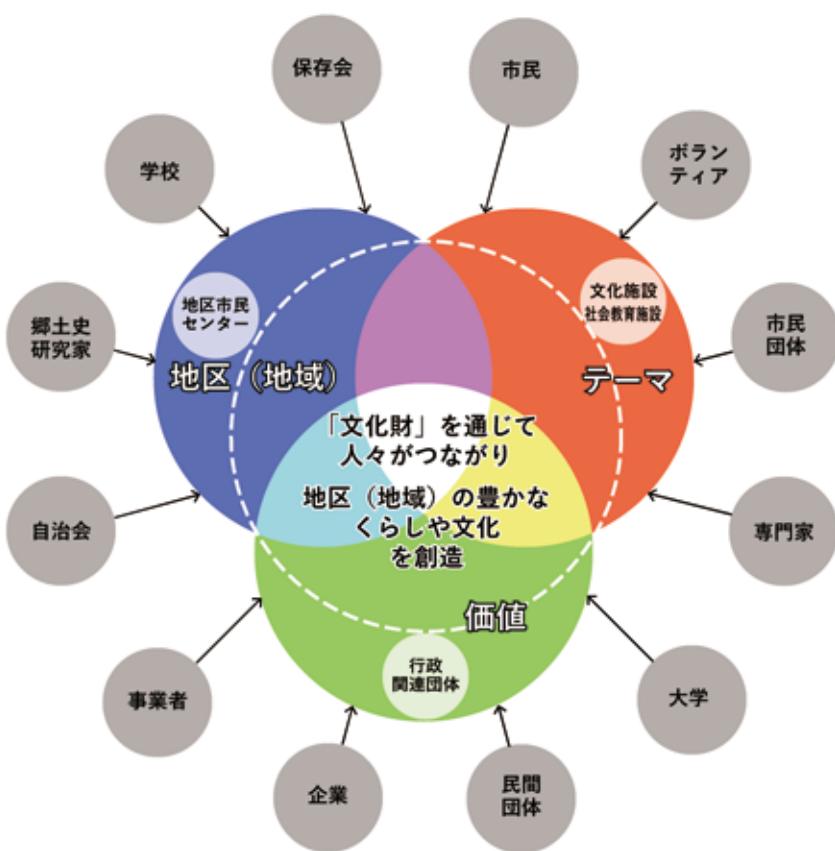
| 関連文化財群 | 課題 | 方針 | 番号 | 取組み 事業名 |
|---|---|--|--|--|
| 4 近世東海道 と四日市宿 | ・街道全域の一体的な連携、取組みが不十分 | ・民間事業者等との連携・協働による魅力向上 | 84 85 86 87 | 街道ウォークの実施(活動を育む46関連) 情報発信(活動を育む32関連) 「東海道おもてなし事業」補助金(活動を育む39関連) 交通機関等民間との連携(活動を育む46関連) |
| 5 産業都市 四日市 の礎となつた 近代産業 | ・近代化遺産となる「文化財」の消失と減少 ・関連する「文化財」の周知不足と計画的な取組みが不十分 ・民間の所有者や事業者との連携の不足 ・「文化財」を活かした景観づくりが不十分 | ・近代化遺産の調査と価値の評価 ・近代化遺産としての指定・登録と計画的な修理 ・民間事業者等との協働による取組み ・四日市港の歴史を活かしたまちづくり | 88 89 90 91 92 93 94 95 | 近代化遺産調査(知る1・3関連) 未指定文化財の指定・登録(知る4関連) 指定・登録有形文化財の修理計画 鉄道の歴史PR(活動を育む46関連) 情報発信(活動を育む32関連) 「文化財」マップの作成(活動を育む34関連) 四日市港「文化財」めぐり(活動を育む46関連) 「みなとまちづくり推進事業」 |
| 6 勇祭! 鯨船行事 | ・行事の調査や記録が不十分 ・行事の担い手、後継者不足 ・市内外への魅力の発信が不十分 | ・伝承を図るための行事の記録 ・多様な方法での担い手の確保 ・多様な方法による資金調達 ・鯨船行事の一体的な情報発信 | 96 97 98 99 100 101 102 | 調査・記録(知る1関連) 「ユネスコ無形文化遺産継承支援活用事業」(活動を育む46関連) 担い手育成支援 「文化財保存整備・継承事業」(守る14関連) 民間助成等の活用(守る18関連) 情報発信(活動を育む32関連) 祭りの情報発信(活動を育む32関連) |
| 文化財 保存活用区域 | 課題 | 方針 | 番号 | 取組み 事業名 |
| 1 近代産業発祥 の地 四郷の歴史文化 | ・近代産業に関わる建造物と趣のある町並みの消失・減少 ・旧四郷村役場・四郷ふるさとの道の活用不足 | ・町並み維持の意識向上 ・旧四郷村役場を拠点としてふるさとの道を活用した面的取組みの促進 | 103 104 105 106 | 町並み整備(ふるさとの道) 市指定文化財旧四郷村役場の活用(活動を育む39・46関連) 醸造文化の発信(活動を育む32関連) 「文化財」マップの作成(活動を育む34関連) |
| 2 漁師町の 歴史文化 富田、富洲原 | ・古民家の維持困難 ・災害への備えが不十分 ・地区(地域)の歴史的な魅力の啓発及び情報発信不足 | ・町並み維持の意識向上 ・防災まちづくりの促進 ・地区(地域)についての学習の促進 ・多様な祭りの一体的な情報発信 | 107 108 109 110 111 | 漁師町の町並み調査(知る1・3関連) 防災の意識向上(守る25・28関連) 地区(地域)で行う学習講座(知る13関連) 情報発信(活動を育む32関連) 「文化財」マップの作成(活動を育む34関連) |

文化財の保存・活用の推進体制

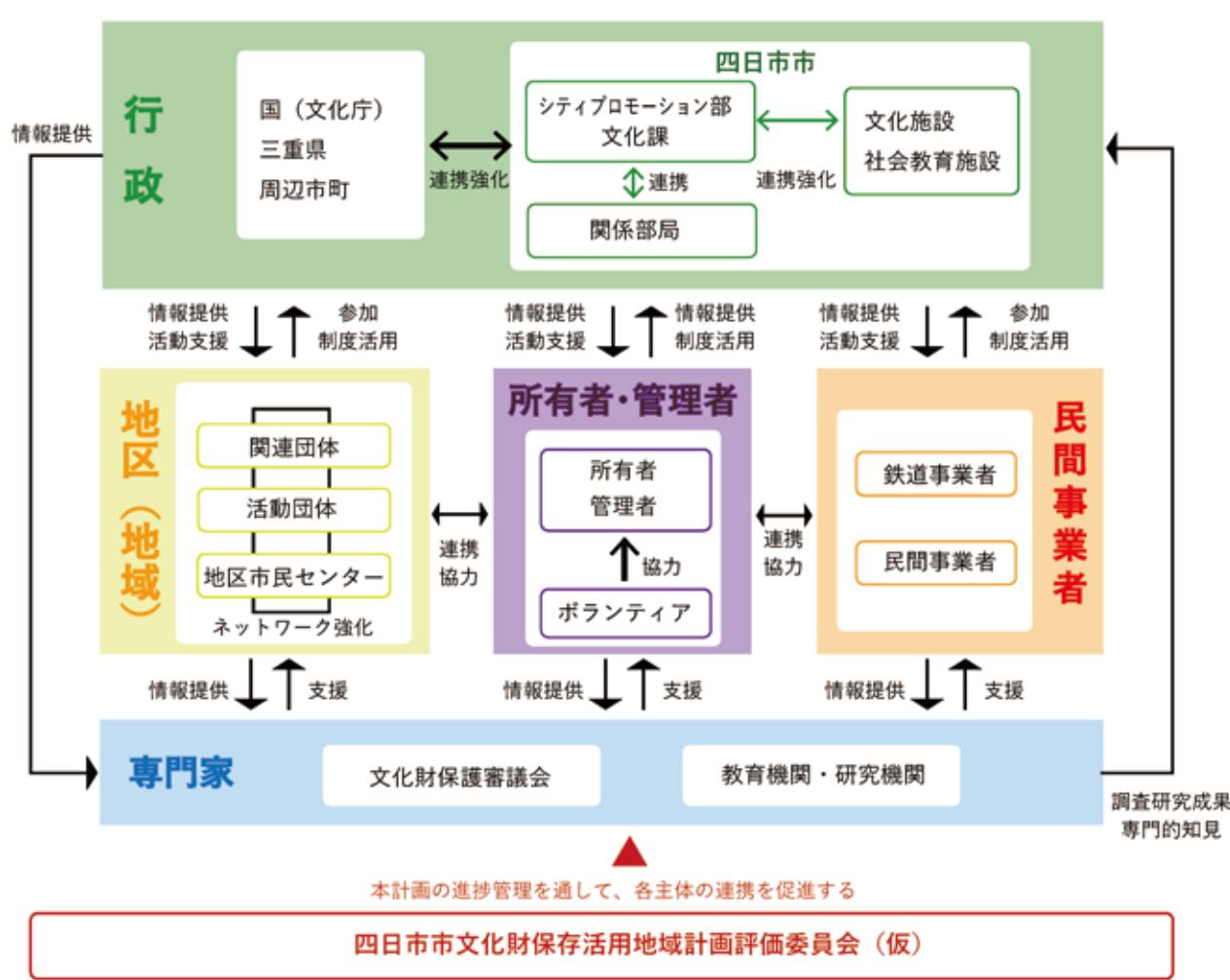
四日市市文化財保存活用担当部署と庁内関係部署ならびに三重県、地域で活動する団体、民間事業者、専門家等が連携して、「文化財」の保存・活用を推進する体制を構築します。

取組み主体に着目し、地区（地域）、テーマ、価値の3つの視点で整理します。現状においても、市内では、3つの視点により、多様な主体が「文化財」の保存・活用に関わり多様な活動が行われています。

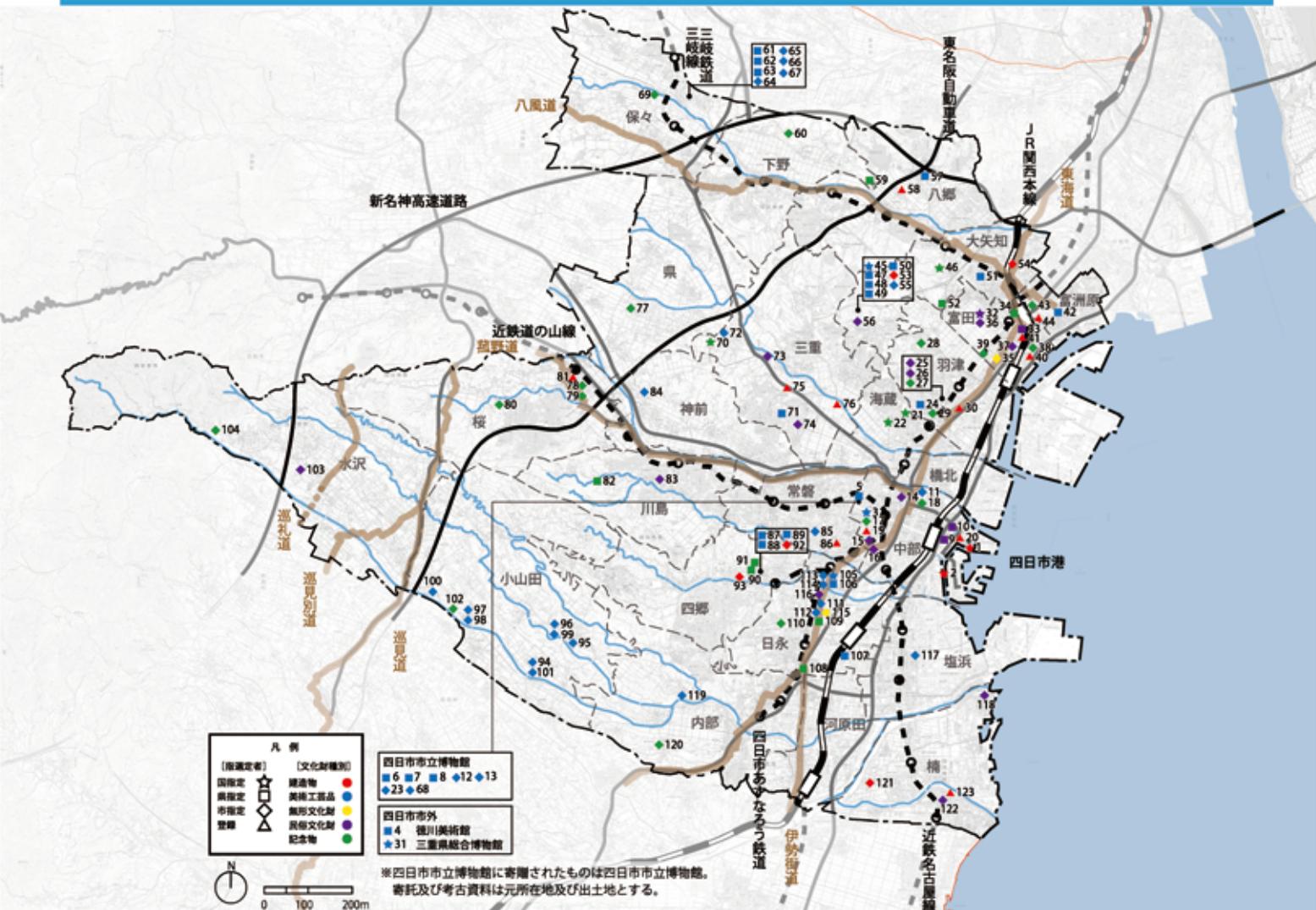
それぞれの視点における核となる施設や主体の機能強化により多様な主体の参画を促します。個別の活動は、独立するのではなく、3つの視点による活動が集まり、関わりあうことで、活動相互のつながりを生み、活動の継続や活性化を後押しします。また、個別の活動について、3つの視点の枠組みを超えた好循環により、内容が深まり、幅広い主体の参加を得て、活動を発展していくことを実現します。



地域総がかりの文化財の保存・活用の推進を実現する3つの視点



四日市市内の指定等文化財



[令和5年3月現在]

| 文化財種別 | | 国指定 | 県指定 | 市指定 | 国登録 | 国選択 | 県選択 | 合計(件) |
|---------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 有形文化財 | 建造物 | 2 | 0 | 5 | 45 | — | — | 52 |
| | 絵画 | 0 | 5 | 4 | 0 | — | — | 9 |
| | 彫刻 | 3 | 11 | 9 | 0 | — | — | 23 |
| | 工芸品 | 1 | 5 | 2 | 0 | — | — | 8 |
| | 書跡・典籍 | 0 | 1 | 5 | 0 | — | — | 6 |
| | 古文書 | 0 | 0 | 3 | 0 | — | — | 3 |
| | 考古資料 | 0 | 1 | 4 | 0 | — | — | 5 |
| | 歴史資料 | 0 | 0 | 1 | 0 | — | — | 1 |
| 無形文化財 | | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 民俗文化財 | 有形の民俗文化財 | 0 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | 無形の民俗文化財 | 1 | 1 | 14 | 0 | 1 | 1 | 18 |
| 記念物 | 史跡 | 1 | 6 | 10 | 0 | — | — | 17 |
| | 名勝 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | 0 |
| | 天然記念物 | 3 | 1 | 3 | 0 | — | — | 7 |
| 文化的景観 | | 0 | — | — | — | — | — | 0 |
| 伝統的建造物群 | | 0 | — | — | — | — | — | 0 |
| 合計 | | 11 | 34 | 66 | 45 | 1 | 1 | 158 |

※地域を定めず指定されている国指定特別天然記念物カモシカ・国指定天然記念物コクガン等を除く。(旧)重要美術品等ノ保存ニ関スル法律で認定を受けている文化財を除く。※「—」は制度がないもの。

四日市市
文化財保存活用地域計画
(概要版)
発行:
令和5年(2023年)12月
編集:
四日市市
シティプロモーション部
文化課
〒510-8601
三重県四日市市
諏訪町1番5号
Tel: 059-354-8238
Email:
bunka@city.yokkaichi.mie.jp




令和5年度
文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)